

『時事直言』 No.1542 2022年4月12日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng/)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

アメリカの利益の為に日本国民を犠牲にする日銀

20年前黒田現日銀総裁が財務省の財務官であったころ、「中国はデフレを輸出している」と言って中国が人民元を対ドルで低く固定していることを批判した。

人民銀行が対ドルで低めに誘導したのは中国経済の為であった。

黒田総裁は、アメリカや欧州の中央銀行が進行して止まらないインフレを制御する為利上げ、資産縮小を加速させている今日、国民が苦しんでいるインフレを放置、詭弁を弄して金融緩和続行である。

拡大する日米金利差からドル高、円安が定着する中で当然起こるキャリートレード(安い円を借りてバリューが上がるドル資産を買う)で金利が上がると連続指値オペ(国債を無制限に買い入れる)を実施、さらに円安、インフレを加速させている。

それはFRBの利上げと資産縮小でNY市場が暴落するのを防ぐ為の日本からアメリカへのキャピタルフライト(資金移動)の為に他ならない。

日本ではインフレは加速、景気指標連続悪化、国民の生活が苦しくなっているのに日銀は我関せず。

中国が国益の為に為替操作するのを批判しながら自分は国民犠牲でアメリカの国益の為に奉仕する黒田総裁。

歴代の財務官はアメリカ第一、日本は二の次が伝統。

黒田総裁を責めることは出来ない。

勝てない戦争をした、いや戦争に追いやられた過去を責めなくてはならない。

増田俊男の「目からウロコのインターネットセミナー」大好評配信中！ 1ヶ月わずか約¥1,000！ご契約は1年単位になります

現在大好評配信中！「目からウロコのインターネットセミナー」！視聴期間はお申込み翌月より12ヶ月となりますのでお申込み月は無料でご視聴頂けます。1か月の平均配信回数は4～6回になります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: www.chokugen.com) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。